



意思決定支援研究

目的：✓患者が医療者に苦痛の表出ができる (中間アウトカム217203-217207)
 ✓療養場所に関する話し合いの普及 (中間アウトカム342202)
 ✓最後の療養場所の希望や医療に関する話し合いの充実 (中間アウトカム342203)

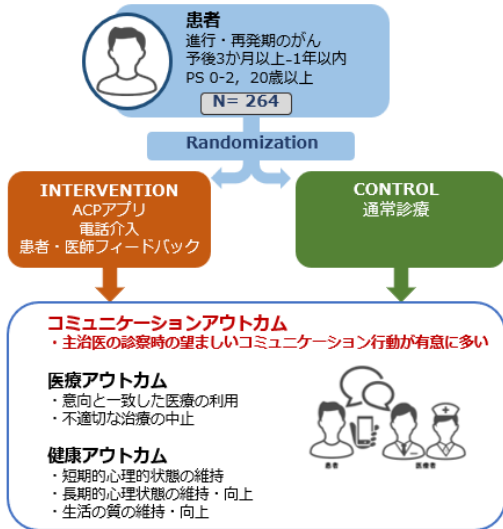
取り組むべき施策
 ✓がん患者・家族の意思決定支援に係る取組推進
 ✓支援の充実、療養環境の実態把握と体制整備

プログラム開発・効果検証

進行がん患者に対するACPアプリによる質問支援を用いた意思決定支援プログラム

背景
 ✓ ACPは国策だが、患者・医療者ともに心理的負担を懸念し、話し合いが先延ばしになる
 ✓ 標準治療後に意向に即した療養を受けられない

目的
 ✓ 療養に関する希望や医療に関する話し合いの充実
 ✓ QOL向上



Obama et al. BMJ Open, 2023; Obama et al., ASCO, 2024

普及・実装



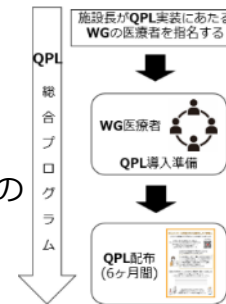
臨床疑問
患者・医療者間の対話促進
#1 質問促進リスト (強い推奨・強いEvidence)
#2 意思決定ガイド (早期がん) (強い推奨・強いE)
医療者対象コミュ技術研修
#3 医師対象 (弱い推奨・中程度E)
#4 看護師対象 (弱い推奨・中程度E)

課題
 ✓ 質問促進リストは、エビデンス強、強く推奨されたが、普及実装は進んでいない

質問促進リスト (QPL) を用いた意思決定支援：実装研究

QPL実装単施設観察研究

参加施設：九州がんセンター
 方法：QPL総合プログラム
 主要評価項目：QPL導入6ヶ月後のWG医療者の行動目標の遵守度

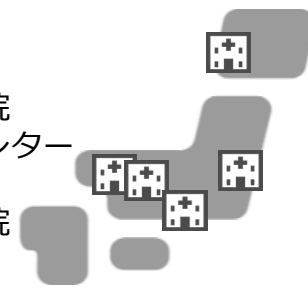


意思決定支援資材開発
 パッケージ化・公開

- 汎用質問促進リスト (17項目)
- 医療者向けのマニュアル
- 患者向けQPL解説動画
- 医療者向け解説動画
- QPL実装施設インタビュー動画
- 患者支援者インタビュー動画

QPL実装多施設観察研究

参加施設：函館五稜郭病院
 水戸済生会総合病院
 近畿中央呼吸器センター
 岡山大学病院
 岡山済生会総合病院



ACP アプリ：臨床試験 (治験)